

2026年5月15日

各位

会社名 株式会社エー・ピーホールディングス
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久
(コード：3175 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛
(TEL. 03-6435-8440)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付で公表いたしました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、2021年3月期より新型コロナウイルスの感染拡大の影響による深刻な業績低迷が継続しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりました。こうした状況を背景に、当社は、組織再編等の構造改革を実行してまいりましたが、国内および香港事業における業績不振店舗からの撤退に伴う減損損失を計上したこと等により、2025年3月期において債務超過となりました。

このような状況下、当社は、早期の債務超過解消に向け、2025年5月30日付で公表した子会社の売却を完了し、2026年3月期の連結会計期間に係会社株式売却益として特別利益438百万円を計上いたしました。これらの財務体質の強化に加え、事業の収益力改善による利益の着実な積み上げ等により、純資産金額は第1四半期末時点で456百万円の資産超過に転じ、中間期末には604百万円、第3四半期末には1,090百万円へと順調に増加し、当連結会計年度末において債務超過が解消されました。

上記に加え、事業面においては、人員体制の抜本的な見直しや教育レベルの向上といった組織コンディションの整備を進めるとともに、不採算であった九州塚田農場および香港事業における経営体制の刷新とブランディングの再構築により、とくに香港事業においては単月黒字化を実現いたしました。

こうした状況を総合的に判断し、当連結会計年度末において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

株主様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご心配をおかけいたしました。今後もさらなる企業価値の向上に一層の努力を重ねてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上